

## 第1回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年1月26日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	山崎真由美、浜田康子				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

- \* 前回の委員会において要請していた議会改革検討課題について、各会派から提出された項目の内容等について説明をうけた。各会派からは「予算・決算審査特別委員会の常設化」「議会報告会の複数開催」「若年層対象の意見交換会の実施」「各種団体との意見交換会の実施」「議会人事の二年制の検討」等多くの項目が出された。重複する項目も多くあることから、正副委員長にて項目を整理し優先順位をつけて議論に入っていくこととした。
- \* 検討項目の中には、予算・決算委員会の総括質疑を款別審査の後に行うこと、代表質問のあり方予特・決特の録画中継など、第1回定例会に向けて協議すべき内容もあったため、それらの項目については各会派において次回委員会までに協議しておくことを要請した。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸

## 第2回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年2月9日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	高橋伸典、山崎真由美、浜田康子				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

\* 前回の委員会において各会派に要請した、第1回定例会にかかわる検討事項（・予算審査特別委員会の総括質疑を款別審査の後に行うことの是非 ・代表質問のあり方）について、各委員から各会派の考え方について報告を受けた。

総括質疑については、総括説明を受けた上での総括的な質疑であるので款別審査の後に行うことにはならないのでは、款別審査の内容を総括するという意味で後で行うということも検討すべき、総括質疑と款別質疑の違いを把握したうえで行うべきであり従来どおりでよい、などの考えが示された。

それぞれの意見を踏まえた上で各会派に持ち帰り、次回改めて協議をすることとした。

代表質問のあり方については、市政執行方針に基づき行うということを改めて認識して、内容についても質の高いものにするよう努力すべきということを再確認した。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸

### 第3回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年2月19日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	高橋伸典、山崎真由美、浜田康子				
欠席委員					

#### 協議内容及び決定事項

\* 前回の委員会で協議した、予算審査特別委員会の総括質疑を款別審査の後に行うことの是非についての各会派の意見を再度確認した。各委員からは、款別審査の後に行う意味や目的が不明確であり現段階では従来どおりとすべき、款別審査後に行うことでより中身の濃い質疑になるのでは、後先の議論だけではなく質疑の内容において議論を深めるということが重要ではないか、等の意見が出されたが、今後予特・決特のあり方の議論の中で総括質疑のあり方についても再度協議すべきとの認識で今定例会については従来どおりの方法で行うことを確認した。

尚、予算・決算審査特別委員会の録画中継の実施については、今定例会から実施することとした。

また、議会改革についての研修会を4月中旬頃に開催することを確認した。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸

## 第4回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年4月28日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	山崎真由美				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

- ・ 4月13日に開催した議会改革研修会の内容について、正副委員長にて抄録としてまとめたものを各委員に配布し、今後の議会改革議論の参考に活用すべく要請をした。  
また、研修会を終えて改めて講師に対しての質問事項等があれば、会派ごとにまとめて5月13日までに提出するよう依頼をした。
- ・ 正副委員長にて先般の議会改革研修会をもとに検討項目の内容を精査し、「市民に信頼される議会を目指して」を統一目標とし、1) 行政への監視機能と政策提言能力の強化 2) 議会審議の活性化 3) 市民に開かれた議会運営と情報公開 を柱とし、具体的検討項目として、予算及び決算審査のあり方、常任委員会の機能強化、議員相互間の自由討議の実践、議会報告会のあり方、議会基本条例の評価と検証について検討を進める方針を示した。
- ・ 今年度は予算及び決算審査のあり方と、常任委員会の機能強化についての2点を中心にして議論をしていくことを確認した。また、次回委員会には常任委員会の進め方のガイドラインをたたき台として示すこととした。
- ・ 委員からは、「常任委員会においては付託案件の審査以外にどのような活動をするのが重要。所管の事務評価の手法や、委員会独自のテーマを設定し調査研究を行ない、いかにして政策提言に結びつけるかなどを検討していくことが重要」などの意見が出された。
- ・ 次回委員会は、5月16日に開催することを確認した。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸

## 第5回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年5月16日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、川村幸栄、野田三樹也				
委員外議員	山崎真由美				
欠席委員	高野美枝子				

### 協議内容及び決定事項

- ・ 常任委員会の機能強化について、正副委員長によりまとめた所管事務調査機能活用のためのガイドラインを提示した。①委員会活動の年間テーマの設定、行政課題の洗い出し ②情報収集・調査活動 ③調査結果の集約・まとめ（委員会における委員間討議の実施） ④調査結果に基づく政策提言 ⑤フォローアップ という基本的な流れをもとに委員会活動を実践していくことを確認した。その後各常任委員長から、委員会の現状と検討中の改革課題についての報告を受けた。各委員長からは、「所管事務調査の報告の前に委員間で協議する場を設けることを検討している」「年間テーマに基づき、受け身の姿勢ではない調査・検証を進めていきたい」「所管に関わる関係団体等との意見交換会などを行い、政策を検証していきたい」などの発言があった。  
各常任委員会として共通認識も多くあったことから、今回の議論をもとに再度常任委員会の活動のガイドラインを整理し次回委員会にて提示することとした。
- ・ 委員から「議会が行ないたい改革と、市民が望む改革は必ずしも一致せず、もう少し優先的に検討すべき項目のすり合わせが必要ではないか。議会改革の進捗状況が目に見えるようにするために、より明確な工程表とタイムスケジュールを示すべき」との発言があり、委員の試案も参考にしながら改めて正副委員長にて協議し、次回委員会において図ることとした。
- ・ 次回委員会を6月定例会会期中に開催することを確認し散会とした。

## 第6回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年6月16日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄、 野田三樹也				
委員外議員	山崎真由美、高橋伸典				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

- ・ 前回の委員会において、委員から議会改革のスケジュールの明確化についての意見があり、正副委員長にて整理した資料を提示した。委員からは検討項目の優先度についても明確に示すべきとの意見があり、改めて優先事項について協議することとした。  
(市政クラブ・新緑風会より議会改革工程表の試案について説明を受ける)
- ・ 議会報告会の開催内容について、今年度は試行的に意見交換をメインに開催することを確認した。また、今回の内容の検証を行い次年度に向けて協議をして行くこととした。
- ・ 次回委員会に向けて、1) 議会報告会(意見交換)の具体的な内容について 2) 常任委員会の視察、予算について 3) 予特、決特の常設化について 4) 議会改革アンケートについて 5) 議会改革の検討事項の優先度について  
以上の項目について各会派に持ち帰り検討を要請した。
- ・ 次回委員会は、6月29日に開催することを確認し散会した。

## 第7回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年6月29日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	山崎真由美、高橋伸典				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

- ・ 予算審査特別委員会、決算審査特別委員会の常設化について協議を行った。各委員からは「現状では常設化の必要性を感じない」「メリット、デメリットについて時間をかけて協議すべき」「常設化を急ぐ必要性はない」等の意見が出され、現状においては早急な常設化の必要性は低いとの結論に至った。
- ・ 常任委員会の視察については、任期4年間の予算の中で弾力的な運用で対応すべきとの方向性で一致し、一定のルールと任期最終年の視察についての考え方を次回協議することとした。
- ・ 議会報告会については、意見交換についてのテーマの設定について提案がなされ、今回は「議会改革について」「総合計画について」をテーマに意見交換を行なうこととした。
- ・ 議会改革アンケートについては、実施することで意見が一致し、アンケートの内容・手法などについては小委員会を作り検討することとした。(各会派から各1名、一人会派から1名の計3名とすることに決定)
- ・ 議会改革の検討事項の優先度について、正副議長と常任委員会の2年任期制について優先して議論すべきとの意見が出されたが、他の委員からは、今2年制を議論する理由が不明確などの意見も出された。次回改めて提案理由を明確に説明するよう要請し、再協議することとした。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸

## 第8回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年7月15日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	山崎真由美				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

- ・ 予特・決特の一人会派の総括質疑について協議をした。一人15分という枠の中で機会を与えるべき、会派ということであれば2人以上が会派であり従来どおりで良い、などの意見が出されたが、今後予特・決特のあり方の中で改めて協議をすることとした。
- ・ 予特・決特の正副委員長の役割については、現状のまま明文化することなく、応用の範囲で対応することで一致した。
- ・ 常任委員会の視察については、現行の任期中の予算の範囲の中で回数制限を設けず実施、任期最終年も各委員会の判断において実施すべきとの方向性で意見が一致した。  
今後視察の事前・事後の市民周知のルール化と先例申し合わせ事項の文言整理が必要であることの確認をした。
- ・ 議会報告会については、6月と9月定例会後の年2回開催、土日開催も検討すべき、定例会毎年4回開催すべき、等の意見が出されたが、直近で開催の議会報告会の結果を踏まえ改めて協議をすることとした。
- ・ 議会改革の優先事項としての正副議長の2年任期について、提案する会派から説明を受けるが、委員会全体の優先協議事項として共通認識が図られておらず、現状においては優先度の高い検討事項として取り上げる状況ではないとの結論に至った。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸



## 第9回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年8月12日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	山崎真由美				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

- ・7月22日、25日に開催した議会報告会の内容等について確認をした。  
委員からは、参加人数が少なく周知方法に工夫が必要、開催方法や時期についても再検討が必要、もっと若い人が参加できるように検討すべき、等の意見が出された。  
改めて今回の結果を踏まえ各会派に持ち帰り協議を要請、次回以降あり方について協議することを確認した。
- ・常任委員会の視察について、先例申し合わせ事項の修正案を提示した。修正案の内容について次回協議をすることを確認した。
- ・アンケート小委員会の人選を行ない、市政クラブ・新緑風会から塩田議員、市民連合・凜風会から佐久間議員、一人会派から川村議員を選出することを確認した。
- ・次回委員会に向けて、決算審査特別委員会の総括質疑の手法について、各会派に持ち帰り検討を要請した。また、議会報告会の今後のあり方と、常任委員会の視察にかかわる先例申し合わせ事項の改正案についての検討もあわせて要請した。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸

## 第10回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年8月26日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	山崎真由美、高橋伸典				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

- ・議会報告会の今後のあり方について協議をした。「年2回、4月と10月に開催」「定例会毎、年4回とすべき」「意見交換の機会を増やし、回数増につなげるべき」「町内会などに出向いて行くことが重要」等の意見が出された。出された意見等を整理し正副委員長においてたたき台を作り、次回以降協議することとした。
- ・常任委員会の視察に関する先例申し合わせ事項の文言修正について、文言修正については、特に意見なし。今後重複委員の扱いと議長の委員会所属については議論が必要であり時間をかけ協議していくことで確認をする。
- ・決算審査特別委員会の総括質疑について、一人会派にも時間を与えるべき、先例のとおり一人会派は除く、などの意見が分かれ、今後一人会派の定義も含め時間をかけ協議することを確認する。また、総括質疑の方法については、今回試行的に「総体質疑～一問一答」と「一問一答」を選択制にすることを確認、次回の議会運営委員会に諮ることとした。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸

## 第11回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年12月2日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、熊谷吉正、高野美枝子、川村幸栄 野田三樹也				
委員外議員	高橋伸典				
欠席委員					

### 協議内容及び決定事項

- 議会報告会の今後のあり方については、各委員から出された意見を集約したたき台として次回委員会にて提示することとした。
- 常任委員会の行政視察について協議を行った。任期最終年の視察を行うことについては意見が一致しているが、予算の考え方については現行の予算の範囲内で行うべきという意見の他、予算が増えてもそれ以上の成果があれば良いのでは、予算をかけないことだけが改革ではない等の意見があり、予算の持ち方について会派に持ち帰り改めて次回協議することとした。
- 予算審査特別委員会の総括質疑のあり方について、決算委員会において試行的に従来方式と一問一答方式の選択制としたが、内容を検証した上で今後の対応について決定することとした経緯がある。各会派での検討をもとに次回委員会で協議することとした。
- 議会改革に関するアンケート調査について、アンケート小委員会から内容の検討結果について説明があり、内容について各会派に持ち帰り次回委員会以降協議することとした。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸

## 第12回議会改革調査特別委員会 概要報告

年 月 日	平成28年12月19日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について
出席委員	山田典幸、奥村英俊、東千春、大石健二、高野美枝子、川村幸栄、野田三樹也				
委員外議員	高橋伸典、佐久間誠				
欠席委員	熊谷吉正				

### 協議内容及び決定事項

- 議会報告会の今後のあり方について、正副委員長において整理したたたき台を示した。開催回数については年2回以上とし、4月と10月に実施すること、班体制については全体的なものについては2班体制で、町内会単位で行うものについては4班体制を基本とすることなどを確認した。
- 常任委員会の行政視察の予算の考え方について協議を行い、予算については現行の範囲内で行うべきとの意見が大勢を占め、現行予算（35万）の中で任期中毎年行政視察を行う方向性を確認した。
- アンケート調査の内容について各委員からの意見として、定数についての設問があるべきでは、アンケートの回答に対する責任も考慮し内容は慎重に検討すべきなどの意見が出された。改めて小委員会にて内容の検討を確認した。

報告者 議会改革調査特別委員会委員長 山田 典幸